

3D 対応レコーダーのみを買った

CMEO 事業部 田村 一雄

2010 年 5 月号の本コラムで「お問い合わせとクレーム」を書き、企業とは、品質とはという命題を世に問うた（ウソです。そんな大げさなものではありません）。そこでは初めて購入しこれまで使ってきた VTR 付 HD/DVD レコーダーについて以下のように書いている（要約）。

「まだこのタイプが出始めの頃で、最も初期の機種を購入したのだが、数ヶ月に渡ってトラブルが続き、この間に交換したのは 5~6 台。最終的には 3 代目の機種に無料交換してもらった。この問題は、同メーカーのその年度の業績を大きく下ぶれさせた原因にもなった。同メーカーのサービスエンジニアは、数ヶ月の間、毎週のように私の家を訪ね本当によくやってくれた。現在も同製品と同メーカーの DVD-RW を使い続けているが、レコーダーが悪いのかディスクが悪いのか、20~30 枚に 1 枚程度フォーマットできないディスクがあり、また、再生やダビングの立ち上がりにもものすごく時間がかかる（10 分程度）ため大きなストレスを抱えている。HD の容量の小ささもストレスだ。早くブルーレイに買い替えたい。サブプライムの影響が個人的に抜け切れていない私にはまだ買い替えられない。」

この文章が掲載された後、ディスクは全てフォーマット不可能になり、ホントにストレスが爆発しそうだったのだが、一方で Panasonic の 3D 「VIERA」が欲しい！という気持ちが日に日に高まっていた。

私は、ほぼ毎週週末にはチャリで 10 分ほどで行ける最大手の家電量販店●●●電機○○○店に顔を出してるのであるが、3D 「VIERA」が発売された週末もわくわくしながら店にチャリを走らせた。そこで見た 3D 「VIERA」54 インチは私の予想を超えた出来栄で、「欲しい！」と思ってしまったのである。多くの方は 3D に飛び出る感を求めるようだが、確かに飛び出る感はある。しかし注目すべきは奥行き感である。展示していた物件は 2.5m 程離れた場所に 3D 用のメガネが設置されており、そこからその高さを自分に合わせて見ることができる（角度は変えられない）。

映っている画面は当然 3D だが、店の案内人によると 2D でも最高の画質であるという。大型液晶 TV も PDP も持っていないにもかかわらず、私は TV 画像にうるさい方で、いっばしの評論家気取りであった。気取りであったが、私のお勧めする●芝の液晶 TV や PDP の中でもこれが一番と見込んだものはプロが最も高く評価する機種と一致していた。その私の目に狂いはないはずである。

ところが毎週*1P 店に通っている私においそれと買えるものでもない。鬱々とした日々でもあった。

と、ここで話が戻るのだが、先の VTR 付 HD/DVD レコーダー（以下、名づけて V レコーダーとしよう）でストレスをためていた私は、まず新しいレコーダーを購入しようと考えた。その一方で、V レコーダーも思い切って修理しようと考えていた。V レコーダーの HD にはまだ見ていない、ダビングが終了していないコンテンツがたくさん入っていたからである。もちろん、人には自慢できないようなタイトルも多く含まれる。これらのコンテンツをなんとかするまで、V レコーダーも延命させたいと考えたのである。

そして修理をお願いし、結局*2DVD 部分のユニットを交換し、新たにリモコンを購入した。するとどうであろう。これまでの問題は全て解決し私のストレスはパッと消滅したのである。早く修理を頼めばよかった。そうしなかった私が悪い。前述のようなことを書いてしまつてごめんなさい。ただ、私の言い分はこうだ。人に自慢できないようなコンテンツを溜め込んでいたので修理を頼むのに気がひけていたし、修理をお願いするには家全体を掃除しなければならないし、休日をほとんどその対応に費やす必要があるし……。大人げないが。

V レコーダーは見事な復活を遂げたのであるが、新レコーダーを買う決意は変わらなかった。ここで 3D である。3D「VIERA」は少しがまんするとして、先に 3D 対応のブルーレイ「DIGA」を買っておこう。しかも最先端のやつを。

そして●●●電機でブルーレイ「DIGA BWT3000」を購入した。現時点で最高級機種だ。3D 対応に加え HDD の容量は 2T もある。V レコーダーの 4 倍だ。

今私は「DIGA BWT3000」の操作方法を習得している最中である。このコラムを書いている今現在、「BWT3000」がセッティングされてからまだ 4 日目である。高性能かつ多機能なだけに、ある意味プリミティブなマシンであった V レコーダーに比べ私を悩ませてみいるし、録画の失敗もしている。

遅ればせながら、現在の AV セッティング状況を説明すると、J-COM デジタルの STB (セット・トップ・ボックス)、^{※3} ソニー WEGA (KV シリーズ 32 インチ)、V レコーダー、DIGA であり、WEGA は 2000 年前後に購入したものだが、壊れないし画像も満足してきた。トリニトロン、フラット画面時代のソニーは素晴らしい。しかし、やはり最新の PDP からすれば大きさや機能面で見劣りしてしまう。というわけなので、3D 「VIERA」を早く購入し「ビエラリンク」を急がなければならない。「ビエラリンク」が完成した際には、またこの場で報告させていただくかもしれない。

ここまで書いてきて液晶 TV についてあまり触れなかったのも、少しだけ触れておきたい。私は液晶 TV のほとんどに満足していない。まず、偏光板むき出しのぺこっと凹む画面がイヤだ。室内で家族げんかがあってモノが飛んできて画面に当たったらガラス基板は割れてしまうだろう。画面のふき取りもしにくそう。私は smoker なので TV の画面はふき取り易さが重要だ。防汚処理もなされているようだが、防汚性能には限界があろうし、防汚コーティングそのものが剥がれ落ちるのではないか。てんぷら屋さん設置されていた液晶 TV は悲惨な状態だったぞ。液晶 TV でも最近一部に前面板がセットされた機種も出てきているようだが、前面板をオプションなどにしてもよいのではないか。AG 系の表面処理も好きではない。^{※4}かつて技術的な難易度の高さはあったようだが、私は当初からクリア LR 系の画面を望んでいた。日本の某最大手液晶・TV メーカーは、表面処理はあくまでも AG 系でいくと長い間言っていたらしいが、ここきてサムスンがクリア LR 系をヒットさせ考え直し始めているとも聞く。日本の某最大手液晶・TV メーカーは例えば Panasonic と比べると閉鎖的で消費者の意見を聞いてくれない感じだ(あくまでも個人的な感じ)。私は Panasonic の回し者ではないし、同社から何かをいただいているわけではない。しかし、日本の家電メーカーで今後とも当面^{※5}支持したいメーカーは、もはや^{※6}Panasonic のみになってしまった。

[筆者注]

- ※ 1 毎回なぜか登場する「P店」(パチンコ店ではありません)。2010.4のYano E plus再Check!
- ※ 2 DVDユニットの耐用時間は2,000hだそうで、私がダビングしたDVDの枚数から考えるととうに2,000hを超えている。よくもったものだ。
- ※ 3 ソニーWEGA (KVシリーズ32インチ)、Vレコーダーはいずれも非地デジ対応。DIGAだけ突出してしまってバランスが悪い。それを笑う人も多い。
- ※ 4 最近クリアLRのTVが増えている模様。
- ※ 5 私がTeensの頃のソニーは本当に憧れであった。VERI CARD収集家にとって夢のラジオ「スカイセンサー」(特に5800、5900)のカッコ良さ!ラジカセ^{※7}「Studioシリーズ」のそれまでになかった迫力!そしてウォークマンの画期性!ソニー製品は性能からデザインまで群を抜いていた。Play Stationも3まで計5台買った(1、2は薄型新タイプに切り替えたため)。メモリースティックにこだわり始めた頃からソニーへの憧れは冷めていったような気がする。
- ※ 6 Panasonicは支持するが、単品でみた場合、東芝の「Cell-REGZA」にはTVの未来と日本の家電メーカーのあり方を垣間見る。本来、こうしたTVはソニーこそつくるべきであったと思う。
- ※ 7 私は「1780」と「1980」を持っていた。その頃の中坊男子の誰もがそうであったように、英語の勉強をするからなどとウソをついて買ってもらった。今にして思えば親だって「んなことあるわけねえ」と思っていたはずだ。

執筆者略歴：田村一雄

1989年、(株)矢野経済研究所に入社。以来、化学・素材分野の調査研究に従事し、現在はデバイス領域まで調査領域を拡げ、CMEO事業部の事業部長としてエレクトロニクス分野の川上から川下領域を統括。知的クラスターへのコンサルティング実績を有するほか、台北事務所長、ソウル支社長を兼務。